

岡山県立津山工業高等学校

化学部

竹の有効活用～自分たちにできる地域貢献～

竹を微粉碎することで高騰したおがくずの代替として牛舎敷料とすることができる、役目を終えた敷料が土質改良剤として見込まれ循環型資源活用の目途がついた。竹も丸ごと粉碎するため竹を全て使いきった。「竹の有効利用と地域貢献」の取組を全国産業教育フェア山口大会で発表した。



岡山県立瀬戸高等学校

びーち

お肌ピチピーチ

「未来をよりよくするために地域の課題を知る」をテーマにした探究学習を実践している。落ちてしまい廃棄せざるを得ない桃を有効活用し、「お肌ピチピーチ」というハンドクリームを作り、特産品の桃の宣伝し、桃農家の副収入を実現する。という経済分野から資源循環を目指した提案を発表した。



岡山県立邑久高等学校

自然環境グループ 2018

タナゴ類保全プロジェクト～二枚貝の長期飼育に挑戦～

貴重なタナゴ類の保全のために、産卵母貝である二枚貝の飼育方法の確立に取り組む。二枚貝の飼育方法の確立や繁殖に成功すれば、野生の二枚貝の捕獲が減り、タナゴ類の保全に大きく貢献できると考えている。二枚貝の屋内での長期飼育に適した条件を探っていく。



岡山学芸館高等学校

医進コース ガタガタマリナーズ

里海創生～アマモ場再生活動から人工干潟の保全まで～

アマモ場再生の環境要因を探り、人工干潟の保全について調査・研究を行っている。この1年半の成果として、地元の海でも底質を改良することでアマモ場再生の可能性が示唆されたこと、人工干潟表面に構造物を増やすことで生物多様性が高くなる可能性が示唆されたことが挙げられる。



岡山商科大学附属高等学校

工業技術同好会

海洋と工業技術

18年間、「海洋と工業技術」の諸問題に取り組んでいる。はじめは、「海岸清掃ロボット」の製作。今は、食料問題として、海洋資源、海洋マッピング、汚染など活動は多岐にわたる。ここ数年は、JAMSTECでの「水中ロボット」コンテストに参加して各大学からアドバイスを受けている。

山陽女子高等学校

地歴部

協働体制の確立による海洋ごみ問題の解決大作戦

世界中が解決に向けて頭を悩ませている「プラスチックごみ」問題に、地域のメディアやNPOや行政など専門や得意分野のノウハウを集結して活用する「協働」体制の確立を念頭に、この役割の成果について活動に取り組む。同様の問題を抱える日本の地域や世界各国のモデルとなる。



岡山県立高松農業高等学校

高農環境を考える会

「一人の百歩より 百人の一歩」プロジェクト

スイゲンゼニタナゴの保護活動・生息環境保全、水質調査・生態調査など地域の環境調査を通じて環境保全の知識・技術を身につける。身につけた知識・技術を生かし、小学生と一緒に地域の環境について学習するとともに、この地域の恵まれた自然を将来に繋げていく後輩を育てていく。



岡山県立玉野高等学校

チリメンモンスター研究班

チリメンモンスターから見た海の環境

日本全国の異なる時期や地域で採集された選別前のチリメンジャコに含まれるチリメンジャコ以外の生物(チリメンモンスター)の種類や量を調べることで、海の生態系や環境の違い、変化がわかる。環境保全センター・水族館・公館などで小学生対象の実験講座を開催している。



岡山県立勝山高等学校

夢現プロジェクト

バイオディーゼル燃料を流通させるには

「バイオディーゼル燃料を流通させるためには」というテーマに取り組んでいる。バイオディーゼル燃料を精製している企業を見学し、バイオディーゼル燃料の利用を実用化している岡山市職員から説明を受けた。岡山市モデルを地元である真庭市でも実現させたいと活動している。



岡山県立矢掛高等学校①

チャリボーライズ

「得得市」でチャリ発電！

電気の大切さを実感できる場面が身近にあれば、多くの人が節電を意識すると考えた。そこで、身近にある自転車を利用した発電機を自分たちで製作。電気を作ることの大変さや大切さを発信するために、矢掛駅前の日曜朝市「得得市」で実際に発電し、地域の人にも体験を呼びかけた。



岡山県立矢掛高等学校②

サイエンス部

スイゲンゼニタナゴの保護

校内の池で絶滅危惧種であるスイゲンゼニタナゴを保護している。ウシガエルのオタマジャクシの駆除、水草の除草、ヘドロの除去などを行い、スイゲンゼニタナゴが生息しやすい環境を作っている。また、矢掛町の朝市や学校の文化祭で発表したり写真を展示したりしてきた。



青翔開智高等学校

探究農業班

鳥取の農業人口減少を食い止める

～アプリ提供による家庭菜園の簡易化を目指して～

新規就農者を増やすために、始めるのが比較的簡単な家庭菜園についてのアプリ開発に取り組む。アプリ開発に必要な画像認識について学び、家庭菜園をやっている方の協力を得て病害・害虫被害が比較的軽度な(処置を施せる程の段階)の画像を集めようと計画している。